

授業科目（ナンバリング）	薬局経営学（NF331） （実践的教育科目）			担当教員	※井手 佳位輔 （実務経験のある教員）		
展開方法	講義	単位数	1.5 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
<p>政府は薬局に患者本位の医薬分業の実現に向けて、患者の服薬状況を一元的・継続的に把握し業務を行う「かかりつけ薬剤師」を育成し、また「地域に貢献する薬局」を志向し物から人への施策を講じている。一方で、薬剤師教育への6年制導入や医薬品販売制度の改革、薬局を医療機関と同様の医療提供施設と位置づけるなどの法律改正も行われており、薬局開設者及び薬剤師をはじめ、薬学生、薬学教育関係者は、法改正や規制緩和といった新しい制度・流れに的確に対応して行くことが必要であり、この授業では薬局・薬剤師の新しい業務と役割を修得する。</p>							②③⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力	関係官庁のホームページやニュース等から薬局の求められている業務を指摘できる。				・定期試験	20%	
コミュニケーション力	患者や住民の悩みに対し、分かりやすく対処法を説明できる。				・受講者の発表	20%	
協働・課題解決力	医療の課題に対しディスカッションを通して、解決策を思索し考えを述べる事が出来る。				・定期試験 ・グループディスカッション	30% 10%	
多様性理解力	諸外国との薬局業務の違いの利点、欠点を説明出来る。				・課題レポート	20%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験の成績を50%とし筆記試験を行う。第13回目終了時に課題レポートを与え、それまでの授業内容に関する事項を問う。また、レポートのフィードバックを第15回目の授業で行い、定期試験で再度筆記させる。受講者の発表については、授業内で指示する。</p>							
授業の概要							
<p>薬局・薬剤師の新しい業務と役割を修得するため、薬局経営の実務経験を有する教員が、薬局経営に関する情報をもとにした授業、学期終盤でレポート作成、また受講者の発表など能動的な学修を喚起する授業を行う。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、112.5分です。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：「薬局管理総論」秋葉 保次、中村 健 編著（薬事日報社）</p> <p>参考資料：講師が準備する配布資料、教科書の巻末資料</p> <p>※主に講師が準備する配布資料で講義を行う。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>近年、我が国の薬局業務に対する期待は増大し、医薬分業の進展とともに物から人へ、薬局内から地域へとその方向性も変遷を続けている。薬剤師が国民の健康な生活にとって不可欠な職能であること、高い資質を維持していくことが国民の負託に応えることに繋がることを理解し、その業務に誇りを持つようになって欲しい。そのためにも社会のニュースなど情報を迅速に収集し理解する努力をしてもらいたい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号*
1	総論 未来の薬局を考える	薬剤師とは、薬局とは 人・社会が医薬品に対して抱く考え 方や思いの多様性	教科書 p1～35 と 配布する資料を予習・復習すること。	69-70
2	社会保障制度	社会保障制度の中の医療保険制度、 国民医療費	ニュース、厚労省 HP、情報紙等を見 る。 配布する資料を予習・復習すること。	95 98 103 111
3	薬局の業務Ⅰ	薬局業務の概要（調剤業務） 保険薬局として必要な条件、	教科書 p36～42 と 配布する資料を予習・復習すること。	910-913 919
4	薬局の業務Ⅱ	販売業務の概要（一般用医薬品、医 療機器・検査薬、毒劇物、薬局製造 販売医薬品等の販売） セルフメデュケーションにおける薬 局の役割	教科書 p43～51 と 配布する資料を予習・復習すること。	94/746/109 739-746 928/965
5	薬局の業務Ⅲ	薬局で行う在宅医療 介護保険	教科書 p55～58 と 配布する資料を予習・復習すること。	99/113
6	薬局の業務Ⅳ	学校薬剤師業務（学校保健活動、環 境衛生検査活動、薬物乱用防止活動）	教科書 p65～66 と 配布する資料を予習・復習すること。	110 114 1046
7	薬局の業務Ⅴ	スポーツファーマシスト 災害時の薬局の役割	社会のニュースに関心を持つ。 配布する資料を予習・復習すること。	959 1045
8	医薬分業	医薬分業の仕組みと意義 我が国の医薬分業の歴史 医薬分業の将来像	厚労省や日本薬剤師会のホームペー ジを閲覧する。 配布する資料を予習・復習すること。	107-8
9	薬学と教育	実務実習受け入れ薬局の責務と今後 の課題、薬剤師の生涯教育	教科書 p112～144 と 配布する資料を予習・復習すること。	62-67
10	薬局の規制と知 識	薬局・医薬品販売業の規制、 医薬品等の基礎知識、 薬局業務運営ガイドラインとその規 制	教科書 p145～202 と 配布する資料を予習・復習すること。	75-6/86-7
11	薬局の業務と責 任Ⅰ	薬局の業務と責任、責任の種類と事 例、	教科書 p215～221 と 配布する資料を予習・復習すること。	81/94/97
12	薬局の業務と責 任Ⅱ	他の責任制度との関係（製造物責任 法{PL法}、医薬品副作用被害救済制 度、薬剤師賠償責任保険、個人情報 保護法）	配布する資料を予習・復習すること。	71-2/79-80
13	薬局開設に必要 な基礎知識・手 続き	薬局の規模と費用、必要機器、薬局 経営と利益 薬局開設許可申請の手続き、処方箋 調剤に関連して必要な許認可の法的 手続き、	教科書 p222～280 と 配布する資料を予習・復習すること。	74/78
14	薬価基準制度 後発品使用促進	薬価基準制度の概要 後発医薬品とその役割	ニュース等を見聞して趣旨を考え る。 配布する資料を予習・復習すること。	100/104
15	調剤報酬の算定 基準	調剤報酬点数表（調剤技術料・薬学 管理料・薬剤料・特定保険医療材料 料）	配布する資料を予習・復習すること。	101
16	定期試験			

注) 上記の第1回～第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

* 到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SB0 番号/項目対応表を参照して下さい。